

## 2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに次のステップへ向けて取り組む目標を職員一同で話し合いながら作成します。  
 目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	48	認知症状の重度化に加え、身体機能の低下してきている利用者が、食席等から急に立ち上がり、歩き始めるとバランスを崩して転倒しそうになることがある。	利用者の身体機能の変化に合わせた課題を選択し、利用者の残存機能の維持及び生活意欲の向上を図る。	①利用者の身体機能の変化に即応した「気づきメモ」を作成し、職員間で共有する。②生活動作の中で、本人が好んで行ってきたものを家族等から確認し、身体機能にあわせて、動作を指導し職員が一緒に行う。	6ヶ月
2	21	入居者同士でお互いを身内と思い込み、過度に世話をして下さる利用者があるが、職員がその状態を理解できない。また、偏った関係となり入居者間のトラブルも見られる。	ユニット内の良好な人間関係を保つことが出来るような支援を検討する。	入居者間のトラブルを未然に防ぐため、少人数のグループ活動をする際も、職員が介在して行うこととする。入居者の生活背景の把握のため、本人への聞き取りに加え、家族からの情報を得て本人の生活史を作る。	6ヶ月
3					
4					
5					

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。